

「関西電力送配電グループビジョン」の策定について

2023年8月1日

関西電力送配電株式会社

当社グループは、本日、2050年頃の社会像とその中で果たすべき役割を思い描き、当社グループのありたい姿を取りまとめた「関西電力送配電グループビジョン」（以下、「グループビジョン」）を策定しました。

2050年頃の社会では、カーボンニュートラルが実現し、デジタル技術をはじめとした先端技術が様々な産業や社会生活に取り入れられ、エネルギーに関するお客さまや社会の皆さまのニーズが飛躍的に多様化していることが想定されます。

このような中、当社グループは、「電力の公正な競争基盤の提供」を事業運営の大前提とし、多様な形態でのエネルギーの安定的な提供をはじめ、お客さまや社会の皆さまに新たな価値をお届けする“エネルギープラットフォーマー”へと進化し続けることで、皆さまのお役に立ち続ける存在でありたいと考えています。

<グループビジョン（2050年に向けたありたい姿）>

電気の託送事業に留まらず、広くエネルギー全体を支える存在として、電気を送る役割からお客さまや社会に新たな価値を提供する“エネルギープラットフォーマー”へと進化し続けます。

[エネルギープラットフォーマーとは]

お客さまや社会のみなさまがエネルギーに関する様々な価値の創出や取引を行う際に、最適なモノ・サービス・取引機会をつなぐ基盤を担う事業者。

当社グループは今後、グループビジョンの実現に向けて、一丸となって全力で取り組んでまいります。

以上

別紙：関西電力送配電グループビジョン

参考資料：ビジョン実現への5カ年の取組み

関西電力送配電グループビジョン



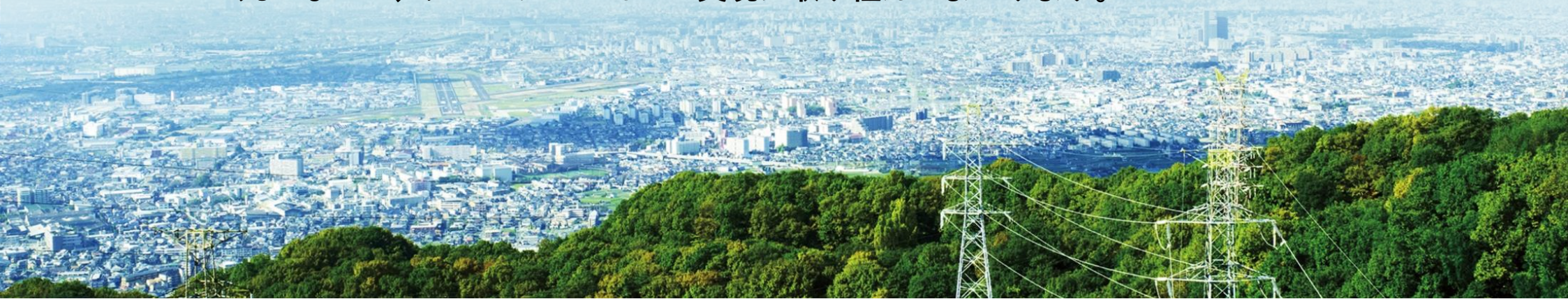
はじめに

昨今、カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギー電源のさらなる連系拡大や激甚化する自然災害に対するレジリエンス強化、系統利用に対するニーズの多様化など、送配電事業が果たす役割へのご期待はより一層高まっていると認識しております。

こうしたご期待に対して、関西一円のネットワーク設備、人財と技術、お客さまや社会の皆さまとのつながりといった送配電グループが有するプラットフォームを深化・拡大させることで、電気の安定供給のみならず、お客さまや社会に新たな価値を提供する“エネルギープラットフォーマー”へと進化し続けたいと考えております。

このような考えのもと、2050年頃の社会像を想像し、送配電グループが果たすべき役割を思い描き、「関西電力送配電グループビジョン」として策定いたしました。

お客さまや社会の皆さまとのコミュニケーションをこれまで以上に大切にし、グループ一丸となって、グループビジョンの実現に取り組んでまいります。



1. 2050年頃の社会と私たちの役割

- 2050年頃の社会では、カーボンニュートラルが実現するとともに、デジタル技術をはじめとした先端技術が様々な産業や社会生活に取り入れられ、エネルギーに関するお客さまや社会の皆さまのニーズは飛躍的に多様化していることが想定されます
- 送配電グループは「電力の公正な競争基盤の提供」を事業運営の大前提とし、多様な形態でのエネルギーの安定的な提供をはじめ、お客さまや社会の皆さまのご期待を超える新たな価値をお届けすることで、快適で便利な社会を創り、支え続けたいと考えております



2. 2050年に向けたありたい姿 ～関西電力送配電グループビジョン～

電気の託送事業に留まらず、広くエネルギー全体を支える存在として、電気を送る役割からお客さまや社会に新たな価値を提供する“エネルギープラットフォーマー”へと進化し続けます

各プラットフォームを足元から5年後、10年後、さらに将来にわたり、深化・拡大・組み合わせることで、お客さまや社会にとって最適なモノ・サービス・取引機会をつなぎ、お客さまのご期待を超える新たな価値を提供し続けたい

データ プラットフォーム

あらゆるデータの蓄積と活用により、最適なエネルギー利用をはじめ多様な価値を提供します

- 分散リソースの制御
- 機器情報の見える化と最適制御
- データ活用による新たな価値提供

設備 プラットフォーム

ご期待に応じた多様な形態でエネルギーを安定的にお届けし、快適で便利な生活を支えます

- EV充放電サービス
- 分散グリッドによる強靱な電力供給
- 非接触給電サービス
- スマートポールによるワイヤレス充電

取引 プラットフォーム

エネルギーに関するいまだ見ぬ新たな価値を含め、取引を支える基盤となります

- アカウント管理サービス
- 取引マッチングサービス
- 電力に留まらないあらゆる価値取引

ヒューマン プラットフォーム

お客さまや社会と対話し、人財・技術といった保有資源をアップデートさせてご期待に応えます

- 設備に関する総合サービス
- ステークホルダーの皆さまのニーズ収集と期待へのお応え

[参考] エネルギープラットフォームについての解説

- エネルギープラットフォームとは「お客さまや社会の皆さまがエネルギーに関する様々な価値の創出や取引を行う際に、最適なモノ・サービス・取引機会をつなぐ基盤」を担う事業者です
- 当社グループがこれまで構築してきた基盤を深化・拡大させるとともに、エネルギーに関する多様な価値を取り引きできる基盤を新たに構築し、皆さまのご期待を超える新たな価値を提供してまいります

データプラットフォーム

様々なデータを蓄積し活用するための情報基盤。従来の取組みを深化・拡大させ、他のプラットフォームで得られたお客さまデータやネットワークデータ、需要機器データ等を蓄積し、新たな価値提供に活用してまいります。

【ご提供価値】

エネルギーに関するあらゆるデータを活用し、効率的なエネルギー利用や制御をはじめ、お客さまの快適な生活に貢献いたします。

設備プラットフォーム

電力系統設備をはじめとした物理的なネットワーク基盤。送配電グループの強みである関西一円のネットワークを次世代化し、さらに深化させることでお客さまや社会へ新たな価値を提供してまいります。

【ご提供価値】

分散グリッド・EV・ワイヤレス給電等、多様な形態でエネルギーを安定的にお届けし、お客さまの快適で便利な生活を支えます。

取引プラットフォーム

様々なプレイヤーが、エネルギーに関する様々な価値を取り引きする際の基盤。お客さまや社会のニーズを捉え、多くのプレイヤーに活用いただける取引基盤を構築してまいります。

【ご提供価値】

エネルギーに関するお客さま間のニーズマッチングをはじめ、いまだ見ぬ新たな価値の取引を安心・安全に行える取引基盤を提供いたします。

ヒューマンプラットフォーム

託送事業で培ってきた送配電グループの人財・技術・ノウハウおよびお客さまや社会とのつながりによる人的基盤。他のプラットフォームを深化・拡大させるベースとなるもので、継続的にアップデートさせてまいります。

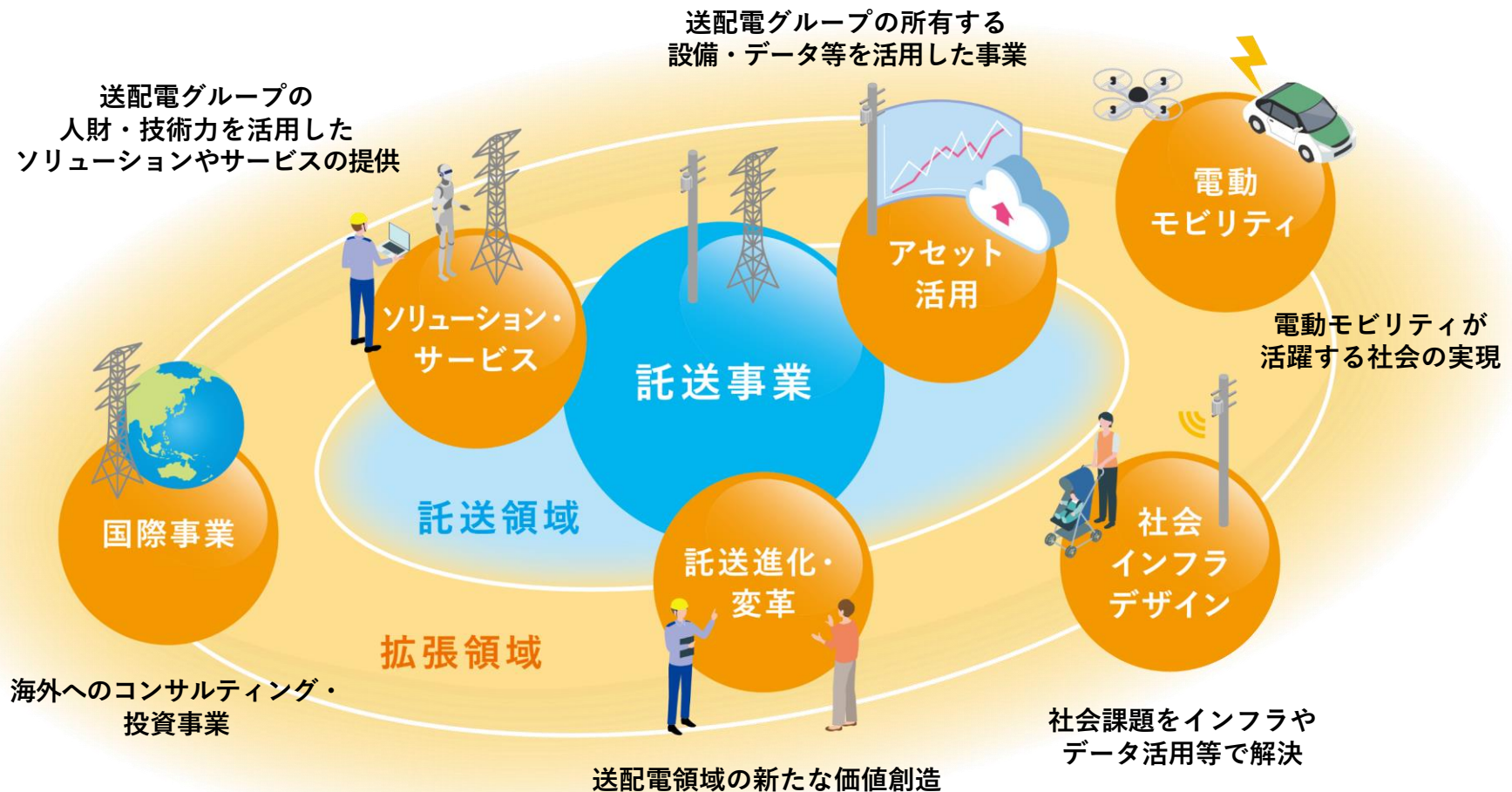
【ご提供価値】

お客さまや社会の皆さまと対話を重ね、ご要望を蓄積したうえで、送配電グループの強みを活かしたご期待を超える価値を提供し続けます。

3. ビジョン実現に向けた事業領域

- コア事業である託送事業を「託送領域」、送配電グループの持つ強みを活かし、事業分野を拡張させた国内外事業を「拡張領域」とし、両事業領域に注力のうえお客さまや社会のニーズを踏まえた新たな価値を提供してまいります

事業領域と取組分野



ビジョン実現への 5カ年の取組み

事業運営の大前提

小売顧客情報の漏洩や定期電圧測定の未実施をはじめとした重大な不適切事象を発生させたことを重く受け止め、同じ過ちを二度と繰り返さないという強い決意のもと、安全を守り抜くことのみならず、あらゆる法令等の厳守をはじめとした公正・誠実な事業活動の徹底を私たちの事業運営の大前提に位置付けました。

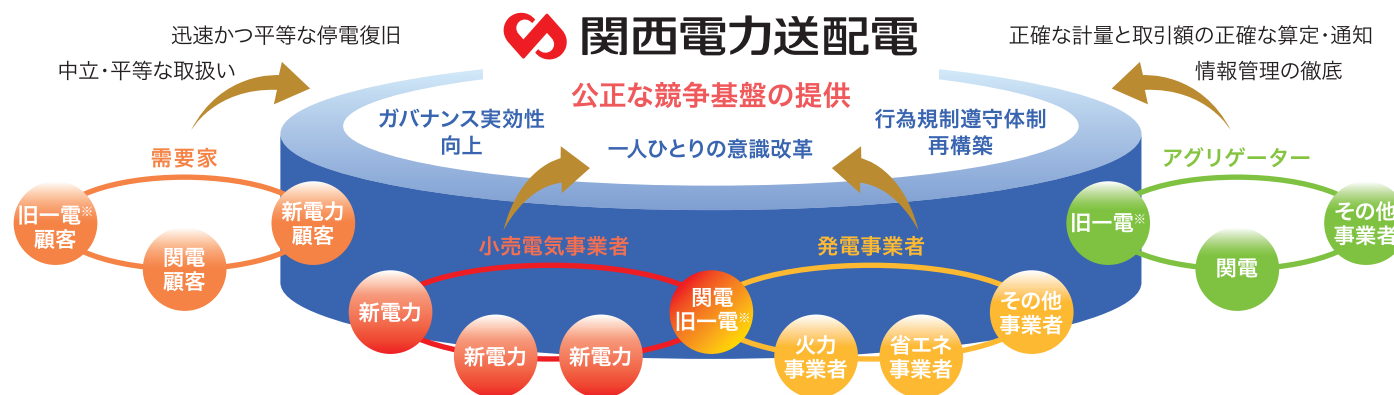
法令等の厳守をはじめとした誠実な事業活動の徹底と公正な競争基盤の再構築

取組みの方向性

法令等の厳守をはじめとした誠実な事業活動なくして私たちの事業運営は成り立たないとの意識を徹底し、自身の行動に自問自答を続けることで、コンプライアンス意識をたゆまず向上させます。

電力システム改革による法的分離の趣旨を踏まえ、従業員一人ひとりが託送事業者の存在意義を再認識し、不退転の決意で自立した公正・誠実な事業体となることで、公正な競争基盤を提供します。

託送事業への期待と公正な競争基盤の提供という役割



※旧一電：東京電力・中部電力等の旧一般電気事業者

ゆるぎない安全文化の構築

取組みの方向性

事業運営の大前提として、ゆるぎない安全文化を構築します。

公衆や協力会社を含め、送配電グループの事業活動に関わるすべての方の安全を守り、重篤災害ゼロを目指します。



協力会社と一体となった安全活動



間接活線作業の適用

託送領域の取組み

2023年度からスタートした新たな託送料金制度のもと策定した事業計画等の取組みを着実に推進し、電力の安定供給はもとより、脱炭素化やレジリエンス強化といったエネルギーに関するお客さまや社会のニーズに応えます。

ネットワークの次世代化と高経年設備対策の着実な実施

取組みの方向性

迅速・円滑な系統連系や設備増強、デジタル技術を活用した系統運用の高度化をはじめ、設備プラットフォームの深化およびデータプラットフォームの構築を推進し、脱炭素社会の実現に貢献します。

供給支障事故対応業務を高度化し、自治体連携強化による早期復旧の仕組みを確立することで、事業計画に掲げる目標を達成するとともに中長期的に業界トップクラスの供給信頼度を確保します。

設備・保全データの蓄積・分析により、アセットマネジメントの精度を向上し、合理的かつ経済的な中長期更新計画を策定するとともに、安定した施工体制を確保します。



架空送電線

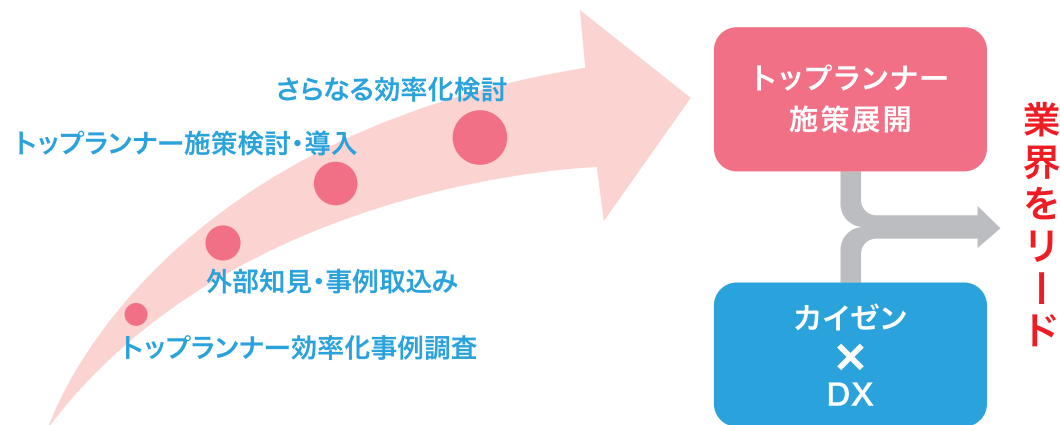


架空配電線

トップランナーに向けたコスト構造改革

取組みの方向性

自前主義にこだわらず、外部手段・知見の取込みを含めたさらなるコスト構造改革に取り組み、業界トップランナーの実現を目指します。



託送／拡張領域の取組み

分散リソースの増加や需要家の市場参加により電力システムの構造変化が起こりつつある中、当社グループが未来にわたって持続し、成長し続けるため、ステークホルダーの皆さまとの密なコミュニケーションのもと、送配電領域の新たな価値創造に取り組めます。

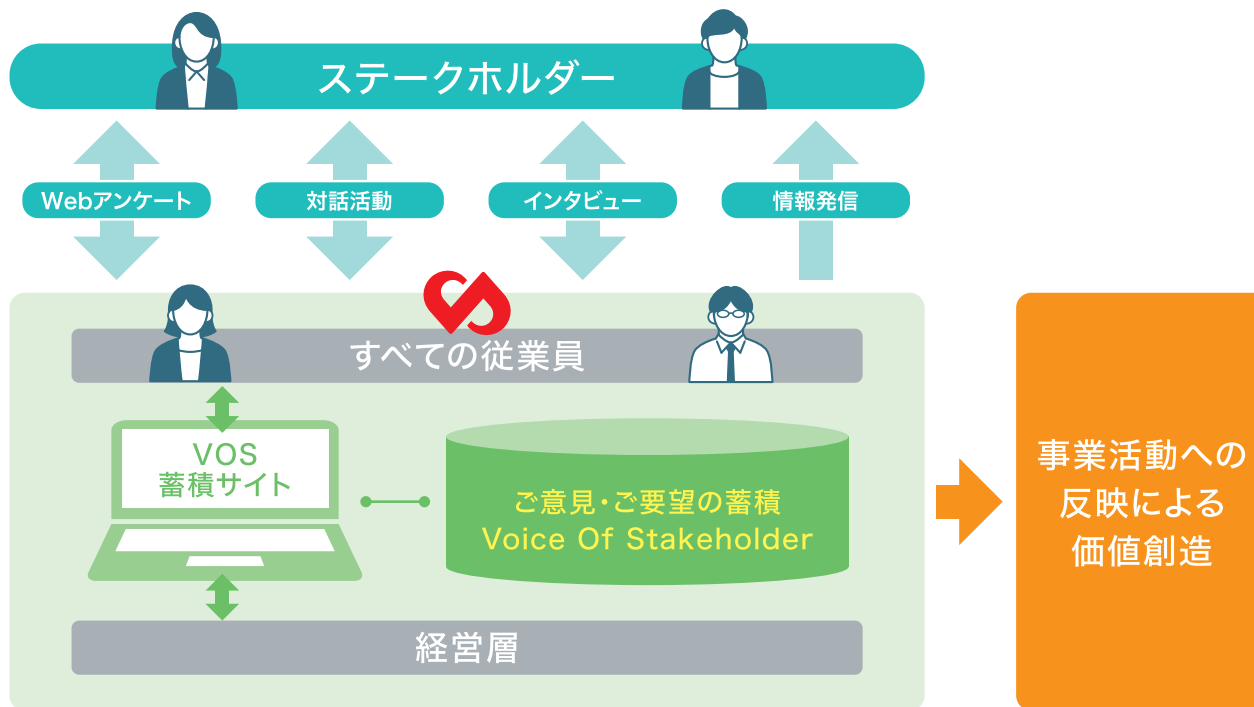
送配電領域の新たな価値創造

取組みの方向性

ステークホルダーとの双方向コミュニケーションを深化させ、ニーズを蓄積・事業反映する仕組みを確立するとともに、ニーズを踏まえた新たな価値提供に向けた創意工夫に送配電グループ一体となって取り組みます。

未来の電力システムにおいても中心的な役割を担うべく、送配電事業の進化・変革に向けた事業戦略の検討を進めます。

【ステークホルダーエンゲージメントの全体像】



送配電事業の進化・変革に向けた検討体制

経営の深い関与のもと事業戦略の検討を推進するため、情報収集から取組み案の優先順位の策定および実装を目指した深掘りまで一貫して担う社長直下の組織「フロンティアラボ」を設置

「フロンティアラボ」
における
検討テーマ(例)

再エネ拡大・分散化時代における送配電事業の価値向上
「これまで」と異なる新たな電気の送り方

拡張領域の取組み

送配電グループが培ってきた強みを活かし、グループ会社事業や託送外事業をはじめ、社会課題解決に役立つ新たな価値提供に取り組み、得られた知見を託送領域へ還元します。

さらなる収益の柱の確立

取組みの方向性

託送事業で培った強みと社外知見・ノウハウの積極的な活用により、新たな事業分野への探索・挑戦に全社一丸となって取り組み、拡張領域の収益拡大を目指します。

海外へのコンサルティング・投資事業により安定的に収益を獲得しつつ、国際事業で得られた知見・ノウハウにより国内外事業の発展に貢献していきます。

送配電グループ会社であるかんでんエンジニアリング、関電サービスと一体となった事業運営により競争力を強化し、グループ収益の柱としてさらなる事業拡大を目指します。



アセット活用

送配電グループの所有する 設備・データ等を活用した事業

- 設備や社有地の有効活用事業
- 送配電設備を活用したデジタルサイネージ
- 電柱位置情報販売や電力データ利活用ビジネス など



鉄塔の跡地を活用した
学生マンション

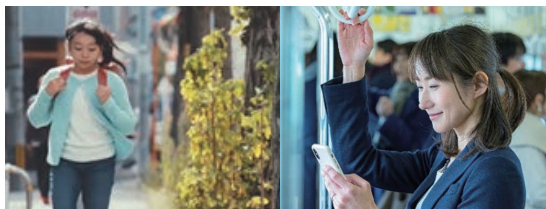


送配電設備を活用した
デジタルサイネージ

社会インフラデザイン

「人口減少」や「インフラ設備の高経年化」 等に起因する社会課題 (防犯・防災・物流など)を解決する事業

- 児童見守り事業
- 電力データを活用した不正口座開設等防止サービス
- モバイルバッテリーシェアリング など

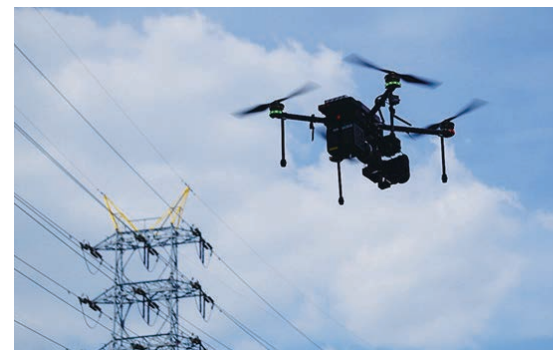


IoT技術を活用した見守りサービスなど防犯事業

電動モビリティ

電動モビリティが活躍する社会の実現

- 電柱等を活用した自動安全運転支援
- ドローン技術を活用した設備保守点検などインフラ管理事業 など



ドローン技術を活用した設備保守

国際事業

海外へのコンサルティング・投資事業

- 国内送配電事業で培った技術力・ノウハウを活かしたコンサルティングや投資による海外電力インフラの整備



海外電力会社
への技術支援

ソリューション・サービス

送配電グループの人財・技術力を活用した ソリューションやサービスの提供

- かんでんエンジニアリング
脱炭素化や再エネ拡大の潮流を踏まえ、高い技術力・施工力を活かした総合エンジニアリングや、ECO絶縁油等の成長分野事業の展開
- 関電サービス
関西一円に存在する人財ネットワークにDXを組み合わせた事業創出や、関西電力送配電と連携した新たな事業展開



植物油系
絶縁油事業
(かんでん
エンジニアリング)



送配電設備を
活用した
広告事業
(関電サービス)

事業基盤の強化

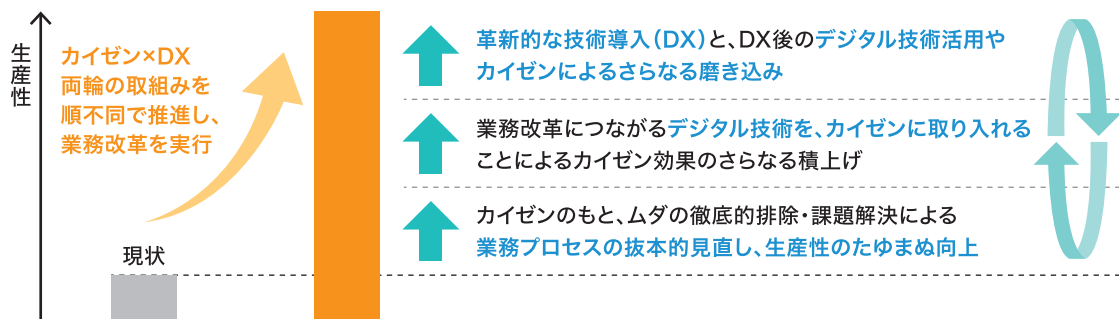
託送領域・拡張領域の取組みを推進するうえでの原動力として重要なカイゼンやDXの推進、人財の強化をはじめ、地域社会からの共感・信頼を賜りながら、先々を見据えた確固たる事業基盤の強化に取り組みます。

カイゼン×DXの推進

取組みの方向性

カイゼン×DXの両輪で、安全・品質・価値提供を含めた仕事の本質追求と革新的な業務改革を実行し、既存の全業務量に対する生産性の倍増を目指します。

【カイゼン×DXによる生産性向上のイメージ】



人財の強化・働き方の多様化

取組みの方向性

事業環境変化に対応し、送配電グループの組織文化変革を牽引する人財の育成・確保を推進します。

ダイバーシティ&インクルージョンの推進により、多様な人財が活躍できる組織・環境の構築を進め、価値観や発想を新たな価値提供や生産性向上につなげていきます。

地域社会への貢献

取組みの方向性

事業理解活動や価値創造活動を展開し、共感を積み重ねることで、地域社会との強固な信頼関係を築き、地域社会と送配電事業の持続的な発展に貢献します。

事業理解・価値創造活動の展開

- 自治体をはじめとしたステークホルダーとの対話活動
- 幅広いメディア・ツールを活用したタイムリーな情報発信
- お客さまや地域社会の声をタイムリーに把握し事業活動へ反映する広聴活動
- 経営方針を浸透させ、従業員が一体的・自発的に活動するための社内広報

